

令和3年度 北海道旭川盲学校 第1回学校評議員会記録

1 日時 令和3年7月15日(木) 10:00~11:00

2 場所 北海道旭川盲学校 フレンドルーム

3 日程及び内容

10:00 校長挨拶

日程説明・出席者紹介(自己紹介)

10:10 説明1: 令和3年度の学校経営について(校長)

10:20 説明2: 令和3年度1学期の教育活動について(教頭)

10:40 質疑応答・協議

10:55 校長挨拶

4 学校評議員ご出席者

宮 本 昌 恵 様	北海道立子ども総合療育センター副院長
宮 崎 伸 一 様	旭川点字図書館長
黒 木 由香里 様	北海道旭川盲学校PTA会長
加 藤 弘 様	旭川盲人福祉協会副会長
渡 辺 典 子 様	旭川児童相談所長 ※ご公務により欠席

5 学校職員出席者

宮 岸 尚 平	校 長
秋 山 卓 也	教 頭
藤 川 直 子	事務長

6 記 録

(1) 説明

説明1: 令和3年度の学校経営について(校長)

校長: 資料1「学校経営方針」、資料2「学校経営の充実に向けて」、資料3「旭盲プレイモデル」に沿って、令和元3年度の学校経営について説明。

説明2: 令和3年度1学期の教育活動計画について(教頭)

教頭: 資料4に沿って、令和3年度第1学期の教育活動の様子について説明。

(2) 質疑応答・協議: 学校評議員よりご意見・感想等

旭川盲人福祉協会副会長 加藤 弘 様

・ICTを活用したzoomなどのオンライン会議システムの普及により、会議などもオンラインでの実施が主流になってきている。

・今後、子どもたちがどのような活用していくかが大事であると考えているが、盲学校の状況はどうなっているか。

→GIGA スクール構想の取組により、昨年までの小学生と中学生の在籍数に基づく数ではあるが、一人一台の端末が整備された。UD ブラウザなどのアプリケーションなども使える状態になってい

るので、今後は一人一人に合った使用方法を検討し、実施していく必要があると考えている。

旭川点字図書館長 宮崎 伸一 様

- ・IT の取組が ICT に変わり様々な機器を活用して社会で活躍する視覚障害者も増えてきた。
- ・ブレイルメモなどの点字ディスプレイを備えた機器やプレクストークなどのデージー図書最盛期は点字図書館からも貸し出すことができるため、是非手にとって試してみる機会を増やしてほしい。
- ・あわせて、点字図書館の登録者がなかなか増えない現状であることから、図書の貸し出しシステムなどについても普及してほしい。また、点字図書館の見学なども積極的に行ってほしい。

北海道立子ども総合療育センター副院長 宮本 晶恵 様

- ・センターのある旭川養護学校幼稚部との交流が実施できたことはよかった。在籍児のうち1名は視覚にも障がいがあるので、アプローチの方法や力を伸ばす紫藤について情報交換してほしい。他の学部にも視覚に課題のある在籍者がいるため、幼稚部に限らず交流を行ってほしい。
- ・卒業生が教員として戻ってきたことは大変喜ばしい。自分自身もセンターで知的障害を併せ持つ本校の卒業生のフォローを行っている。心のふるさととしてのネットワークをつくってほしい。
- ・視覚認知の面からアプローチする教育相談への対応は、今後も盲学校としてアピールして行ってほしい。
- ・東京オリンピック・パラリンピックを契機として、身近なものとして感じられるよう取り組んでほしい。

→北海道の盲学校卒業生もパラリンピックに出場することから、身近に感じてほしいと考えている。

北海道旭川盲学校 PTA 会長 黒木 由香里 様

- ・我が子は本を読むことが好きなので、点字図書館を是非活用したいと考えた。
- ・本校出身の全盲の教員が今年度より勤務しているため、様々なことを教えてほしいと考えている。これまで年齢の離れた生徒しかおらず、参考にならないこともあったが、いろいろ経験したことを伝えてほしいと思っている。

(4) 校長挨拶

- ・各評議員の方への謝辞